

群馬県の財務書類（平成 29 年度決算）の概要について

1. 趣旨

(1) 経緯

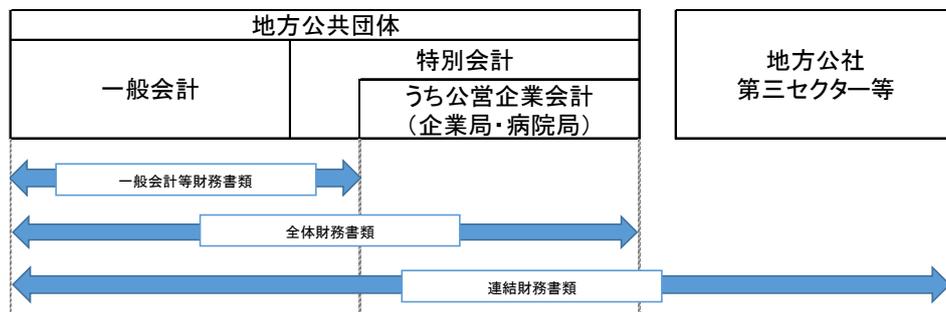
- ・本県では、平成 20 年度決算から、資産や負債などの要素も含め、多角的に財政状況を説明する資料として財務書類を公表してきましたが、地方公共団体によって、複数の作成モデルが存在していました。
- ・このため、総務省では、地方公共団体間での比較等の観点から「統一的な基準」を作り、当該基準による財務書類の作成・公表を各地方公共団体へ要請しており、本県でも平成 28 年度決算から当該基準に基づく財務書類を作成しています。

(2) 作成・公表する財務書類

- ① 貸借対照表
- ② 行政コスト計算書（企業会計における損益計算書に代わるもの）
- ③ 純資産変動計算書（株主資本等変動計算書に代わるもの）
- ④ 資金収支計算書（キャッシュフロー計算書に代わるもの）

(3) 財務書類の対象範囲

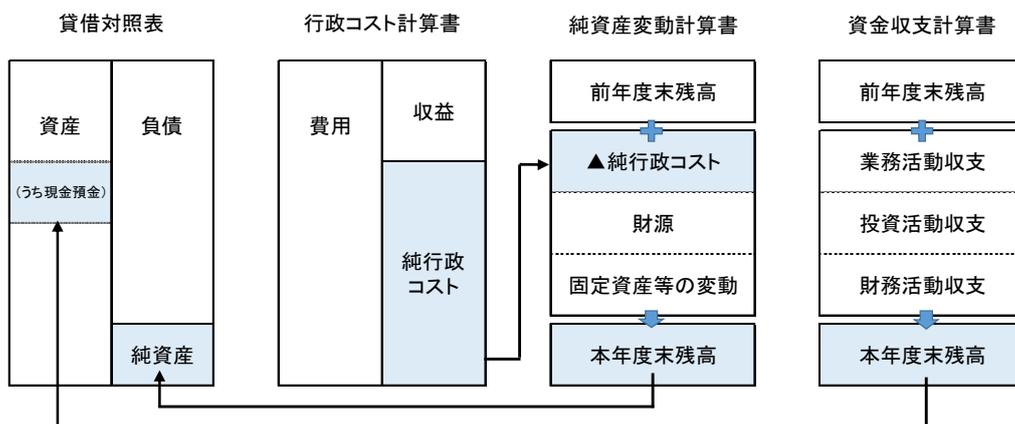
- ① 一般会計等：一般会計及び特別会計（地方公営企業会計を除く）
- ② 全体：①に加え、地方公営企業会計〔＝地方公共団体の全体〕
- ③ 連結：②に加え、地方公社、第三セクター等の外郭団体（原則出資割合 25%以上）



【参考】

財務書類の構成

- ・財務書類は、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」の 4 表から構成されていて、下図のように相関関係を持ちます。



2. 一般会計等財務書類

① 貸借対照表

- ・ 県が期末時点で保有している財産（資産）の規模と、その資産形成の財源（負債・純資産）を対照表示したものです。
- ・ 資産の項目は、行政サービスの提供のために県がどのような財産をどれだけ保有しているかを表しています。
- ・ 負債の項目からは、行政サービスの提供や資産の形成のために借り入れた金額や、将来の負担に備えてどの程度の金額を引き当てておく必要があるのかが分かります。

○群馬県の H29 年度決算の貸借対照表

- ・ 資産総額は 1 兆 6,652 億円、負債総額は 1 兆 4,932 億円で、資産から負債を差し引いた純資産は 1,720 億円であり、債務超過の状況にはなっていません。
- ・ なお、負債の大部分を占める地方債残高 1 兆 2,777 億円のうち、5,850 億円は臨時財政対策債であり、後年度に国から地方交付税として全額手当されるものです。

資産の部				負債の部			
	H29	H28	増減		H29	H28	増減
固定資産	16,387	16,449	▲ 62	固定負債	13,190	13,171	19
有形固定資産	15,031	15,134	▲ 103	地方債	11,207	11,066	141
事業用資産	3,537	3,573	▲ 36	退職手当引当金	1,971	2,090	▲ 119
インフラ資産	11,404	11,470	▲ 66	その他	12	15	▲ 3
物品	90	91	▲ 2	流動負債	1,742	1,580	163
無形固定資産	11	7	4	地方債	1,570	1,406	164
投資その他資産	1,346	1,308	37	賞与等引当金ほか	172	173	▲ 1
流動資産	265	303	▲ 38	負債合計	14,932	14,750	182
現金預金	113	126	▲ 13	純資産の部			
基金	130	159	▲ 29	純資産	1,720	2,003	▲ 283
その他	22	18	4	負債・純資産合計	16,652	16,753	▲ 100
資産合計	16,652	16,753	▲ 100				

事業用資産は庁舎や学校等、インフラ資産は道路や橋梁等の工作物で、これらの**有形固定資産**が資産の大部分を占めています。

基金や出資金、有価証券等が計上されています。

財政調整基金と減債基金(満期一括償還積立分以外)が計上されています。

※参考
・所有外資産 6,120億
管理者と所有者が異なるため、貸借対照表に計上されない資産です。(例:3桁国道など)

退職手当引当金は、期末時点で全ての職員が自己都合で退職した場合に必要な退職金の額を計上しています。退職手当支給率の引下げや職員数の減少に伴い、引当金も減少しています。

負債の大部分(1兆2,777億円)を地方債残高が占めています。

※この中には、後年度に国から交付税として全額手当される臨時財政対策債の残高5,850億円も含まれています。

資産から負債を差し引いた**純資産はプラス**となっています。

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

	資産	負債	純資産
H29	839	752	87
H28	840	740	100

○期中の資産・負債の主な増減事由

【資産の部】

- ・ **固定資産**は、高等学校や特別支援学校等の事業用資産 (+73 億)、道路等のインフラ資産 (+267 億) の整備等を行ったものの、既存資産の減価償却が進んだ (▲433 億) ことにより、**62 億円減少**しました。
- ・ **流動資産**は、現金預金の減 (▲13 億) や減債基金の取崩し (▲46 億) により、**38 億円減少**しました。
- ・ 資産全体としては、**100 億円減少**しました。

【負債の部】

- ・ 退職手当引当金が減少 (▲119 億) したものの、臨時財政対策債 (+186 億) や地方交付税制度を補完する減収補てん債 (※) (+148 億) などの県債残高の増加により、**182 億円の増加**となっています。

※減収補てん債は、地方交付税で算定される税収額と実際の税収額を比較し、実際の税収額が少ない場合に、差額の範囲内で発行が認められるものです。償還にあたり、後年度に交付税措置 (75%) があります。

【純資産の部】

- ・ 資産と負債の差引である**純資産は、283 億円減少**しました。

② 行政コスト計算書

- ・一会計期間中の資産形成に結びつかない行政サービスに要した費用と、その対価として得られた収益を表したものです。
- ・収益には、経常的な行政サービスの提供に対して収入した使用料等が計上されています。
- ・費用から収益を差し引いたものが純行政コストです。

○群馬県の H29 年度決算の行政コスト計算書

- ・行政サービスの提供に要した費用は 6,221 億円、行政サービスの提供による対価の使用料等は 280 億円で、差引の純行政コストは 5,941 億円となっています。
- ・行政サービスの提供にかかるコストのうち、職員給与等の人件費（34.5%）や、団体への補助金支出等（31.4%）が大きな割合を占めています。
- ・県の行政サービスに要する費用の大部分は、税収や地方交付税等により賄われています。

	費用	H29	H28	増減	収益	H29	H28	増減
<p>経常的な行政サービスを実施するためにどのような費用がかかったかを示しています。</p> <p>現金による支出の他、建物や工作物の固定資産に係る減価償却費もコストとして計上されています。減価償却が進むほど、1年間のコストが増加し、純資産が減少する要因となります。</p> <p>災害復旧事業費など、臨時的に発生した費用を計上しています。</p>	経常費用	6,195	6,245	▲ 50	経常収益	266	269	▲ 3
	業務費用	4,004	4,162	▲ 158	使用料及び手数料	134	135	▲ 1
	人件費	2,145	2,284	▲ 139	その他	133	134	▲ 2
	職員給与費	1,880	1,905	▲ 25	臨時利益	14	4	10
	その他	265	380	▲ 114	資産売却益	12	4	8
	物件費等	1,302	1,328	▲ 26	その他	2	0	2
	物件費	768	752	15	計	280	273	7
	維持補修費等	86	131	▲ 45	純行政コスト	H29	H28	増減
	減価償却費	448	445	3	純行政コスト＝費用－収益			
	その他	557	550	7	(行政サービスの大部分は、税収や地方交付税等により賄われています)			
	移転費用	2,190	2,082	108				
	補助金等	1,955	1,859	96	計	5,941	5,995	▲ 54
	社会保障給付費	137	137	0				
他会計繰出金	72	74	▲ 1					
その他	25	13	13					
臨時損失	27	24	3					
計	6,221	6,268	▲ 47					

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

県民1人あたり純行政コスト (人口は各年度末)	H29	H28
	299	301

【費用】

- ・経常費用は、主に人件費の減（▲139億）により、50億円減少しました。
- ・臨時損失は、災害復旧費等の増により3億円増加しました。
- ・費用全体としては、47億円減少しました。

【収益】

- ・経常収益は、使用料及び手数料の減（▲1億）等により、3億円減少しました。
- ・臨時利益は、県有地の売払いに伴う資産売却益の増（+8億）等により、10億円増加しました。
- ・収益全体としては、7億円増加しました。

【純行政コスト】

- ・費用が減少（▲47億）し、収益が増加（+7億）したため、前年度と比較して▲54億円減少しました

③ 純資産変動計算書

・一会計期間中の純資産（貸借対照表）の増減を表したものです。

○群馬県のH29年度決算の純資産変動計算書

(単位: 億円)

	H29	H28	増減
前年度末純資産残高	2,003	2,273	▲ 271
本年度純資産変動額	▲ 283	▲ 271	▲ 12
純行政コスト	▲ 5,941	▲ 5,995	54
財源	5,627	5,713	▲ 86
税収等	4,751	4,858	▲ 106
国等補助金	876	855	21
固定資産等の変動	31	11	19
本年度末純資産残高	1,720	2,003	▲ 283

県が保有している資産(有価証券等)の評価額の変動や、資産の無償での取得・譲渡等に伴う増減です。

行政コスト計算書で算出された純行政コストです。

税収や地方交付税、国庫補助金等、対価性なく収入したもので、純資産を増加させる要因となります。

貸借対照表の純資産と一致します。

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

・純資産残高は、前年度末と比べ283億円減少し、1,720億円となりました。

④ 資金収支計算書

・一会計期間中の資金の増減を業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支に区分し表したものです。

○群馬県のH29年度決算の資金収支計算書

(単位: 億円)

	H29	H28	増減
前年度末現金預金残高	126	119	7
本年度資金収支額	▲ 11	6	▲ 17
業務活動収支	▲ 150	61	▲ 212
支出: 人件費、物件費等			
収入: 税収、補助金等			
投資活動収支	▲ 166	▲ 139	▲ 27
支出: 公共施設等の整備費用、基金積立等			
収入: 基金取崩収入、貸付金元金回収等			
財務活動収支	305	83	222
支出: 地方債償還支出			
収入: 地方債発行収入			
本年度歳計外現金増減額	▲ 1	1	▲ 3
本年度末現金預金残高	113	126	▲ 13

行政サービスの提供に伴う収支です。

公共施設や道路等の資産整備や、基金の積立・取崩に伴う収支です。

県債の発行・償還に伴う収支です。

貸借対照表の現金預金と一致します。

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

・1年間の資金収支等は13億円の赤字となっており、現金預金残高は、前年度末の126億円から113億円に減少しています。

・業務活動収支は、主な収入である県税(▲79億)や地方交付税(▲77億)の減などにより、212億円減少しました。

・投資活動収支は、投資的経費の増(+13億)などにより、27億円減少しました。

・財務活動収支は、税収額が地方交付税算定上の見込額より少なかったことにより減収補てん債を発行(+198億)したことや臨時財政対策債の発行額が増加(+35億)したことにより、222億円増加しました。

3. 県全体財務書類

- ・一般会計等に企業会計（電気事業、工業用水道事業、水道事業、団地造成事業、駐車場事業、施設管理事業、病院事業）を加え、作成しています。
- ・流域下水道事業は、公営企業会計適用の集中取組期間（平成27～31年度）のため、連結対象から除外しています。なお、平成32年度から公営企業会計を適用予定です。

① 全体貸借対照表

○H29年度決算の全体貸借対照表

- ・資産総額は1兆8,773億円、負債総額は1兆5,835億円で、資産から負債を差し引いた純資産は2,938億円となっています。
- ・一般会計等と比較すると、1.13倍となっています。

資産の部	H29	H28	増減
固定資産	17,744	17,828	▲ 83
有形固定資産	16,572	16,677	▲ 105
事業用資産	3,892	3,955	▲ 63
インフラ資産	12,363	12,403	▲ 41
物品	317	319	▲ 2
無形固定資産	206	209	▲ 4
投資その他資産	967	941	26
流動資産	1,029	1,035	▲ 7
現金預金	819	801	18
基金	130	159	▲ 29
その他	80	75	4
資産合計	18,773	18,863	▲ 90
負債の部	H29	H28	増減
固定負債	13,936	13,972	▲ 35
地方債	11,611	11,515	96
退職手当引当金	2,044	2,166	▲ 121
その他	281	291	▲ 10
流動負債	1,898	1,710	188
地方債	1,630	1,463	167
賞与等引当金ほか	269	247	21
負債合計	15,835	15,682	153
純資産の部	H29	H28	増減
純資産	2,938	3,181	▲ 243
負債・純資産合計	18,773	18,863	▲ 90

純資産は一般会計等よりも1,218億円増加しています。

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

② 全体行政コスト計算書

○H29年度決算の全体行政コスト計算書

- ・行政サービスの提供に要した費用は6,613億円、行政サービスの提供による対価の使用料等は716億円で、差引の純行政コストは5,897億円となっています。

費用	H29	H28	増減
経常費用	6,583	6,651	▲ 68
業務費用	4,440	4,614	▲ 175
人件費	2,292	2,434	▲ 142
職員給与費	2,004	2,030	▲ 26
その他	288	404	▲ 116
物件費等	1,574	1,613	▲ 40
物件費	897	901	▲ 4
維持補修費等	155	194	▲ 39
減価償却費	521	519	3
その他	574	567	7
移転費用	2,144	2,037	107
補助金等	1,960	1,864	96
社会保障給付費	137	137	0
他会計繰出金	21	23	▲ 2
その他	25	13	13
臨時損失	29	50	▲ 21
計	6,613	6,701	▲ 89
収益	H29	H28	増減
経常収益	697	722	▲ 26
使用料及び手数料	552	578	▲ 26
その他	144	144	0
臨時利益	19	13	7
資産売却益	13	4	8
その他	7	8	▲ 2
計	716	735	▲ 19
純行政コスト	H29	H28	増減
純行政コスト＝費用－収益			
(行政サービスの大部分は、税収や地方交付税等により賄われています)			
計	5,897	5,967	▲ 70

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

③ 全体純資産変動計算書

○H29 年度決算の全体純資産変動計算書

・純資産は、前年度末から 243 億円減少しています。

(単位: 億円)

	H29	H28	増減
前年度末純資産残高	3,181	3,415	▲ 234
本年度純資産変動額	▲ 243	▲ 234	▲ 9
純行政コスト	▲ 5,897	▲ 5,967	70
財源	5,626	5,718	▲ 92
税金等	4,747	4,857	▲ 111
国等補助金	879	860	19
その他	28	15	13
本年度末純資産残高	2,938	3,181	▲ 243

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

④ 全体資金収支計算書

○H29 年度決算の全体資金収支計算書

・1年間の資金収支等は 18 億円の黒字となっており、現金預金残高は、前年度末の 801 億円から 819 億円に増加しています。

(単位: 億円)

	H29	H28	増減
前年度末現金預金残高	801	746	54
本年度資金収支額	20	53	▲ 33
業務活動収支	▲ 27	206	▲ 233
支出: 人件費、物件費等			
収入: 税金、補助金等			
投資活動収支	▲ 218	▲ 198	▲ 20
支出: 公共施設等の整備費用、基金積立等			
収入: 基金取崩収入、貸付金元金回収等			
財務活動収支	264	44	220
支出: 地方債償還支出			
収入: 地方債発行収入			
本年度歳計外現金増減額	▲ 1	1	▲ 2
本年度末現金預金残高	819	801	18

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

4. 連結財務書類

・全体に地方公社、出資比率25%以上の第三セクター等22法人の合計23法人を加え、作成しています。

・地方公社：1法人

群馬県住宅供給公社

・第三セクター等：22法人

(公財)群馬県私学振興会

(公財)群馬県教育文化事業団

(公財)群馬県長寿社会づくり財団

(公財)群馬県生活衛生営業指導センター

(一財)群馬県森林・緑整備基金

(公財)群馬県蚕糸振興協会

(公社)群馬県青果物生産出荷安定基金協会

(公財)群馬県産業支援機構

武尊山観光開発(株)

(公財)群馬県育英会

(公財)群馬県防犯協会

(公財)群馬県消防協会

(公財)群馬県スポーツ協会

(公財)群馬県児童健全育成事業団

(公財)尾瀬保護財団

(公財)群馬県農業公社

(公財)群馬県漁業増殖基金協会

(公財)群馬県馬事公苑

(公財)群馬県勤労福祉センター

(公財)群馬県観光物産国際協会

(公財)群馬県青少年育成事業団

(公財)群馬県暴力追放運動推進センター

① 連結貸借対照表

○H29年度決算の連結貸借対照表

- ・資産総額は1兆9,025億円、負債総額は1兆5,936億円で、資産から負債を差し引いた純資産は3,088億円となっています。
- ・一般会計等と比較すると、1.14倍となっています。

(単位:億円)

資産の部	H29	H28	増減	負債の部	H29	H28	増減
固定資産	17,963	18,005	▲ 42	固定負債	14,014	14,049	▲ 35
有形固定資産	16,652	16,760	▲ 108	地方債	11,615	11,519	96
事業用資産	3,971	4,037	▲ 66	退職手当引当金	2,052	2,175	▲ 122
インフラ資産	12,363	12,403	▲ 41	その他	346	355	▲ 9
物品	318	320	▲ 2				
無形固定資産	206	211	▲ 6	流動負債	1,922	1,736	186
投資その他資産	1,105	1,033	72	地方債	1,631	1,464	166
流動資産	1,062	1,067	▲ 5	賞与等引当金ほか	292	272	20
現金預金	845	825	20	負債合計	15,936	15,786	151
基金	130	159	▲ 29	純資産の部	H29	H28	増減
その他	87	82	5	純資産	3,088	3,286	▲ 197
資産合計	19,025	19,071	▲ 47	負債・純資産合計	19,025	19,071	▲ 47

いずれの団体も財政状況が良好なため、連結後の純資産は全体よりも増加しています。

純資産+150億円

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

② 連結行政コスト計算書

○H29 年度決算の連結行政コスト計算書

・行政サービスの提供に要した費用は 6,661 億円、行政サービスの提供による対価の使用料等は 803 億円で、差引の純行政コストは 5,858 億円となっています。

(単位:億円)

費用	H29	H28	増減	収益	H29	H28	増減
経常費用	6,637	6,703	▲ 66	経常収益	783	772	11
業務費用	4,492	4,677	▲ 185	使用料及び手数料	569	608	▲ 39
人件費	2,316	2,457	▲ 140	その他	214	164	50
職員給与費	2,021	2,047	▲ 25	臨時利益	20	13	7
その他	295	410	▲ 115	資産売却益	13	4	8
物件費等	1,595	1,644	▲ 49	その他	7	8	▲ 1
物件費	906	921	▲ 15	計	803	785	18
維持補修費等	166	202	▲ 36	純行政コスト	H29	H28	増減
減価償却費	523	520	3	純行政コスト＝費用－収益			
その他	580	576	4	(行政サービスの大部分は、税収や地方交付税等により賄われています)			
移転費用	2,145	2,026	119				
補助金等	1,961	1,853	108				
社会保障給付費	137	137	0				
他会計繰出金	21	23	▲ 2				
その他	26	14	13				
臨時損失	24	50	▲ 27	計	5,858	5,969	▲ 111
計	6,661	6,753	▲ 93				

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

③ 連結純資産変動計算書

○H29 年度決算の連結純資産変動計算書

・純資産は、前年度末から 197 億円減少しています。

(単位:億円)

	H29	H28	増減
前年度末純資産残高	3,286	3,522	▲ 237
本年度純資産変動額	▲ 197	▲ 237	39
純行政コスト	▲ 5,858	▲ 5,969	111
財源	5,633	5,720	▲ 87
税収等	4,748	4,859	▲ 111
国等補助金	885	861	24
固定資産等の変動	27	12	15
本年度末純資産残高	3,088	3,286	▲ 197

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

④ 連結資金収支計算書

○H29 年度決算の連結資金収支計算書

- ・ 1年間の資金収支等は 20 億円の黒字となっており、現金預金残高は、前年度末の 825 億円から 845 億円に増加しています。

(単位:億円)

	H29	H28	増減
前年度末現金預金残高	825	769	56
本年度資金収支額	21	55	▲ 34
業務活動収支	▲ 20	211	▲ 231
〔支出:人件費、物件費等 収入:税金、補助金等〕			
投資活動収支	▲ 219	▲ 197	▲ 22
〔支出:公共施設等の整備費用、基金積立等 収入:基金取崩収入、貸付金元金回収等〕			
財務活動収支	261	42	219
〔支出:地方債償還支出 収入:地方債発行収入〕			
本年度歳計外現金増減額	▲ 1	1	▲ 3
本年度末現金預金残高	845	825	20

※表示単位未満で四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。